

カエデ (モミジ)

ハウチワカエデ

カエデ科の落葉高木。葉の大きさは直径が7cm~12cmで、形が天狗のうちわに似ていることから、この名前がついたといわれている。また、「カエデ」は葉がカエルの手のように見えるためといわれている。



カエデの仲間なかまは、秋になると翼よくとよばれるプロペラ状じょうのタネをつけ、クルクルとまわりながら落ちる。

ヤマモミジ

カエデ科の落葉高木。葉の大きさは直径が5cm~10cmで、山によく生えることから、この名前がついた。特に日本海側の雪の多いところで見られる。



紅葉

カエデやモミジの葉は秋になると黄色やオレンジ赤色になり、とても美しい。